

越谷市千間台西に市内初のフリースクール「りんご」が四月に開校する。運営するのはNPO法人(特定非営利活動法人)「越谷らるる」。NPO法人運営のフリースクールとしては県内初、全国でも都内の「東京シユーレ」に次いで一番目だという。越谷らるるは平成四年に市民有志が集まつてできた地域の教育を考える住民の会。今年一月三十日にNPO法人として認証され、登記が完了したばかり。6歳以上の人ならだれでも受け入れる生涯学習の場を目指す。

不登校児ら受け入れ

4月開校、運営は「らるる」

フリースクール「りんご」の木

木は、同市千間台西の

学習塾兼住宅の一階のフロアを使って開設される。越谷らるるが目指すフリースクールは、不登校の子供や学校を中退した若者に年齢の近い仲間と出会い、活動し、学びあう場を提供するのが第一の目的。そして復学、進学、資格取得、就職などのために知識や技能を学ぼうとする人たちへの学習の支援や中高年の生きがいのための学びの場を支援するなど、子供に限定しない

木は、「やりたいことは自分で選ぶ」「みんなのこと

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

円を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

円を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

円を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

円を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

定員は45人、6歳以上

フリースクール「りんご」の木に入学するには有料。定員四十五人で入学資格は6歳以上の勉強する意思のある人なら上限はない。費用は越谷らるる会費年1万円、入学金(初年度だけ)5万円、月謝3万円(3か月ずつ年四回に分けて納

木は、「やりたいことは自分で選ぶ」「みんなのこと

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

越谷らるるの代表世話人で事務長を務める増田良枝さんは「正規の学校に通学する児童生徒は公費で援助されますが、不登校や中退たりすれば、社会にとって成長や学習のための社会的な支援は得られません。放置された人が世の中を恨んだり、職業に就けなくなったりすれば、社会にとっても損失。学校の匂いのしない民間支援の方が有効な場合もたくさんあると思う」とフリースクールの設立の意義を話す。

このほか、フリースクールでの出席日数が正規の学校(小学校・中学校)での

出席日数に換算されるなど、学校側の理解も必要になっている。

5歳以上

木に入学するには有料。定員四十五人で入学資格は6歳以上の勉強する意思のある人なら上限はない。費用は越谷らるる会費年1万円、入学金(初年度だけ)5万円、月謝3万円(3か月ずつ年四回に分けて納

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万

木を、越谷らるるが300万円を負担して改築工事を始めた。ただ、学習机やイスなどの備品が足りず、今後も一般からの寄付を募つて山野井紀男さんが5000万